

実環境下における仕上げ材付きコンクリートの 中性化進行の非/微破壊評価と外観維持型 鉄筋腐食抑制技術の開発

(長寿命化対策等分野)

(平成28～30年度)

東京理科大学 今本 啓一

株式会社浅沼組 山崎 順二

旭化成ワッカーシリコーン株式会社 竹平 章良

1. 背景・目的

- 鉄筋コンクリート造建築物の中性化の進行評価

現状: コア調査: 構造体への損傷+情報が断片的

提案①: 仕上げ材付きコンクリートを対象とした, ハイブリッド型非/微破壊
透気試験による中性化進行評価

- 実環境下における仕上げ材の劣化と中性化抑制効果

現状: 実環境下における仕上げ材料の劣化の進行と中性化抑制効果は
不明な点が多い。

提案②: 実地調査データをフィードバックした劣化シミュレーション技術の
開発

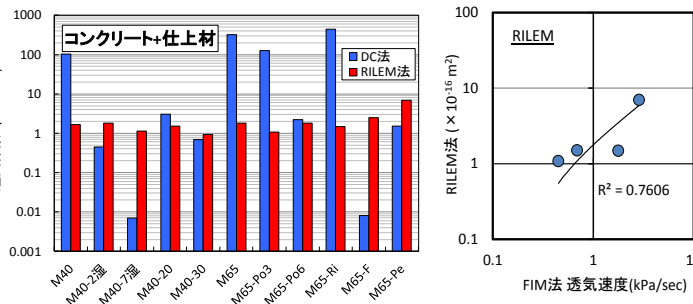
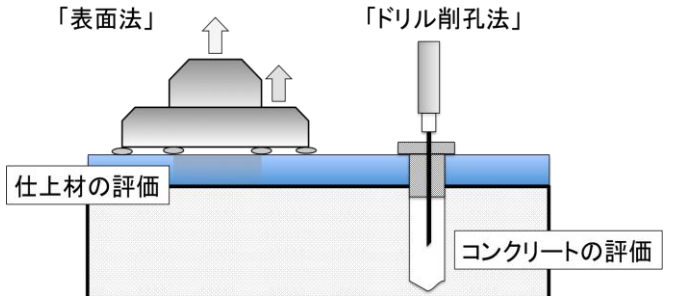
- 中性化したコンクリートの補修工法

現状: 再アルカリ化やコンクリート打替え等の工法が一般

提案③: 水分浸透抑制による外観維持型鉄筋腐食抑制工法の開発

2. 技術開発の概要と昨年度までの成果

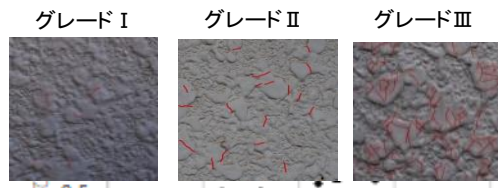
①ハイブリッド型透気試験方法による仕上げ付きコンクリート部材の総合的透気性評価



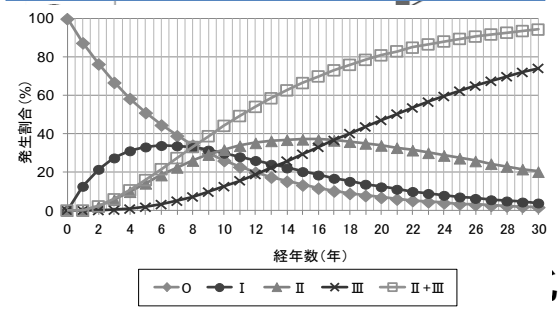
表面法(DC法)は仕上げ材削孔法(FIG法)はコンクリートを評価

ハイブリッド試験による仕上げ材付きコンクリートの透気性評価

②マルコフ連鎖モデルによる仕上げ材の劣化シミュレーション技術の開発



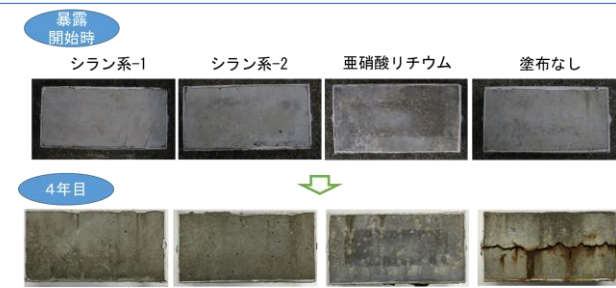
実建築物における仕上げ材の劣化調査と劣化シミュレーション技術の開発



仕上げ材の劣化と中性化の関係

③水分浸透抑制による外観維持型鉄筋腐食抑制工法の開発

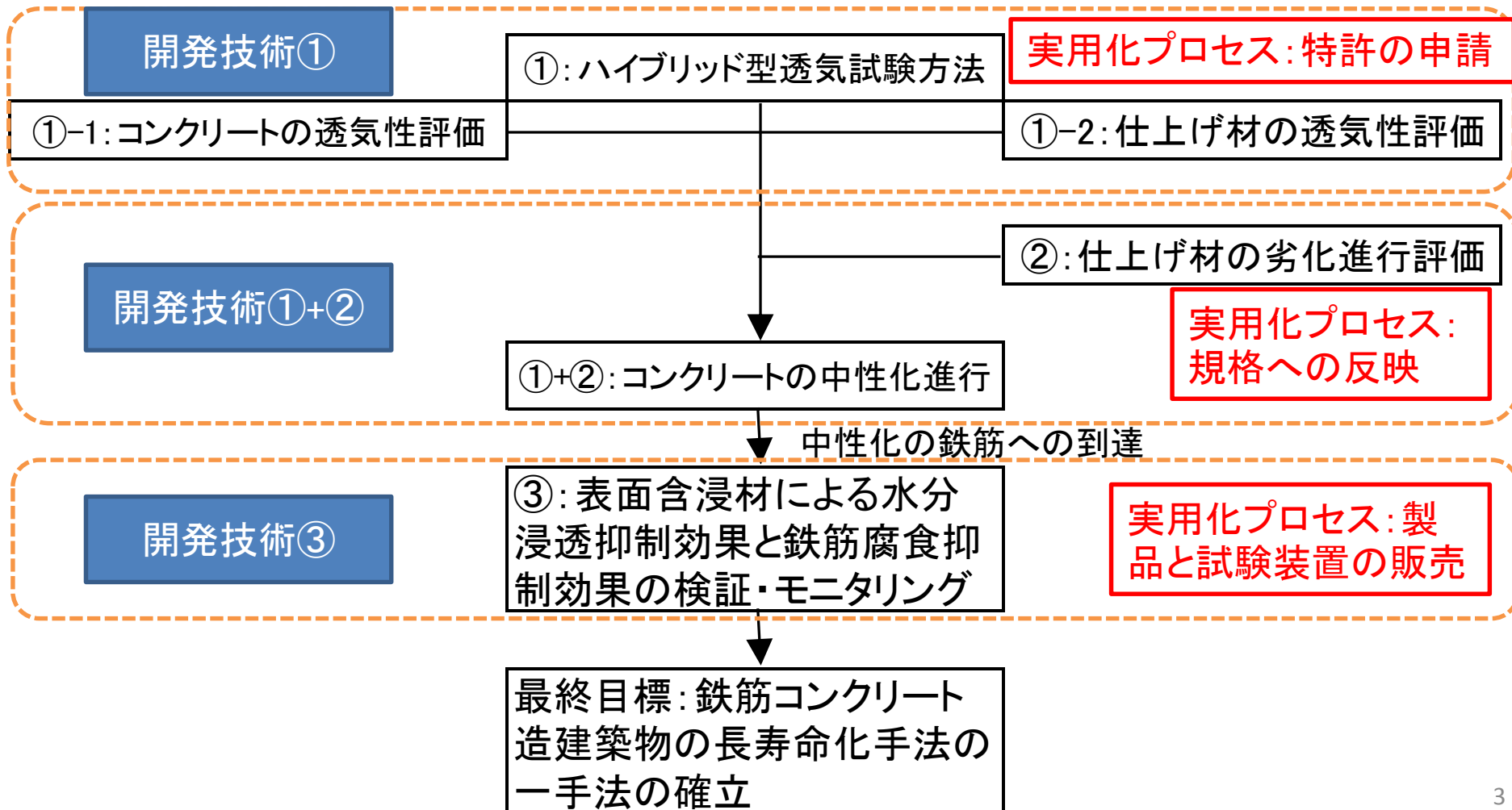
改良型表面含浸材(シラン系)の水分浸透抑制効果の評価



効果	シラン系	亜硝酸リチウム
色差	○	
塩分浸透抑制		○
撥水	△	○
吸水抑制		△
鉄筋腐食抑制	○	

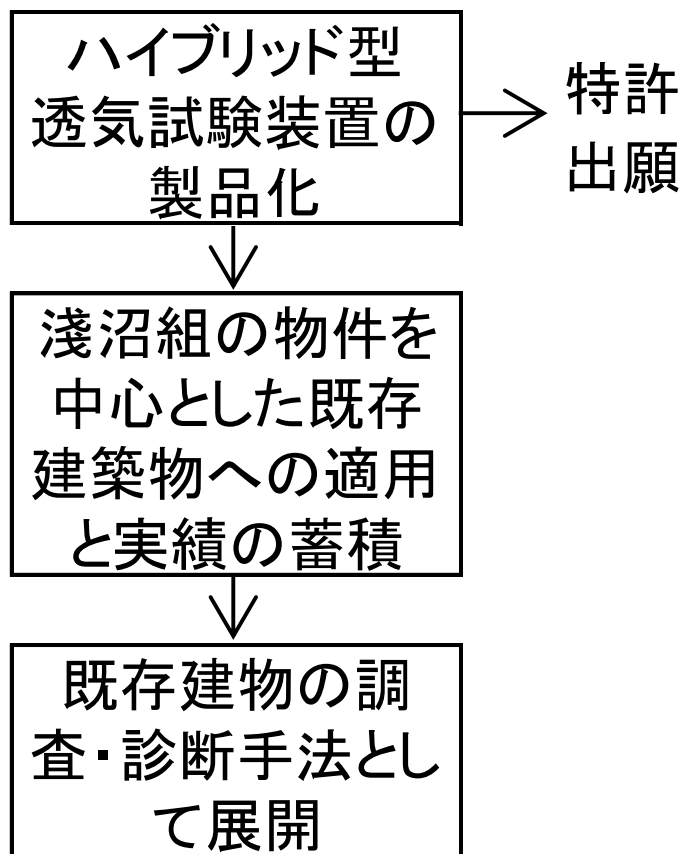
表面含浸材の鉄筋腐食抑制効果の検証

3. 技術開発・実用化のプロセス



7-1. 実用化・製品化の見通し

技術①ハイブリッド型
透気試験方法



対象者:

- ・住宅の耐震診断、定期点検、建物調査などを行う検査会社
- ・建設系コンサルタント会社
- ・建設会社の技術者など

普及の方法:

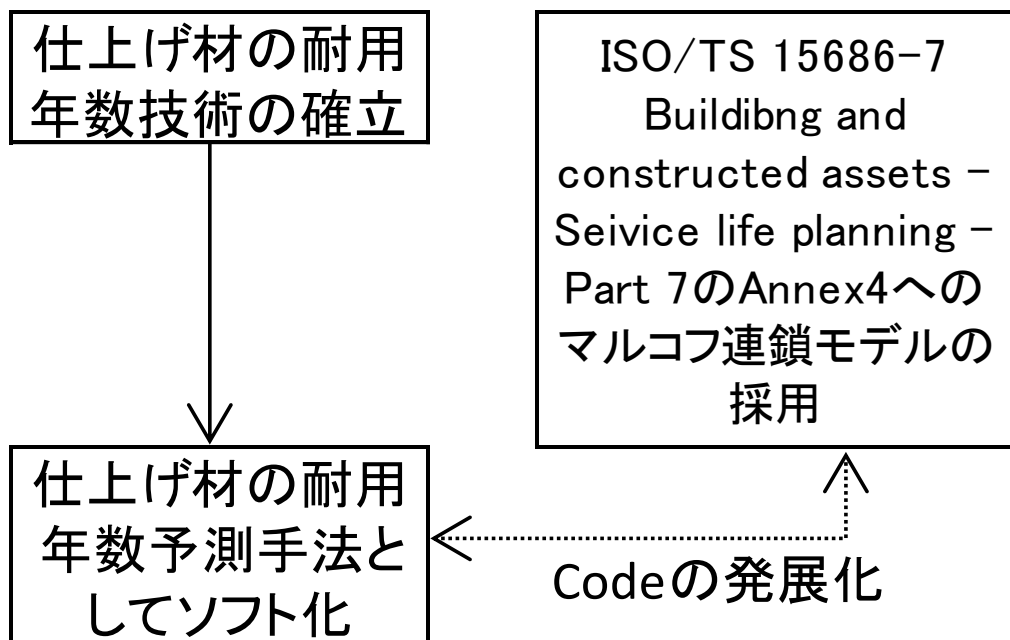
- ・実績の積み上げ
- ・学術団体における透気試験の規格化
(表層透気性試験方法研究委員会 委員長:今本啓一)

実用化・製品化のイメージ:

- ・試験機メーカーによる試験機制作・販売

7-2. 実用化・製品化の見通し

技術②マルコフ連鎖モデルによる仕上げ材の劣化シミュレーション技術



対象者:

- ・ディベロッパー
- ・マンション管理者
- ・建物調査などを行う検査会社
- ・建設系コンサルタント会社
- ・建設会社の技術者など

普及の方法:

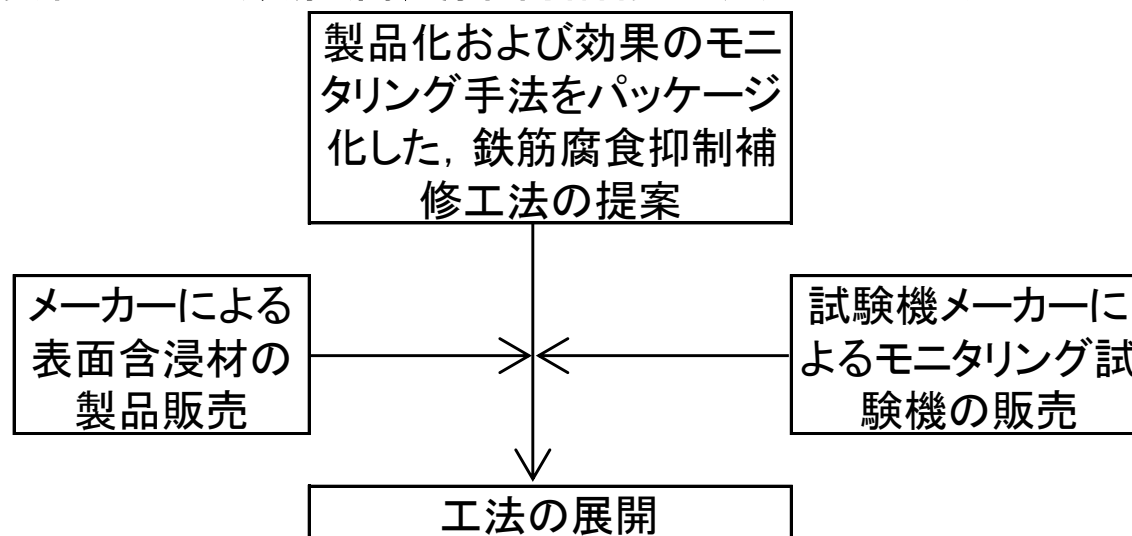
- ・ISO規格への反映を踏まえた国内での奨励

実用化・製品化のイメージ:

- ・ソフトメーカーによるソフトウェア化

7-3. 実用化・製品化の見通し

技術③表面含浸材による鉄筋腐食抑制補修工法とモニタリング手法



対象者：

- ・建物補修会社
- ・建物調査診断会社
- ・建設系コンサルタント会社
- ・建設会社の技術者など

普及の方法：

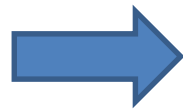
- ・実証実験の継続
- ・土木分野においてはNETIS登録

実用化・製品化のイメージ：

- ・メーカーによる製品化
- ・試験機メーカーによる試験機制作・販売

4. 技術開発の必要性、緊急性

- ・診断にあたっては建物への**損傷を最小限**とすること
- ・建築物に一般に用いられる仕上げ材の影響を加味した中性化進行の**非破壊**評価
- ・外観の変化を**極力抑制**した改修方法の開発



社会的な必要性和ストックの増加を鑑みた場合の緊急性

5. 技術開発の先導性

- 開発技術①: **コア抜きに代わる**非破壊技術+仕上げ材付きコンクリートへの拡張
- 開発技術②: 実環境下の**実測データに基づく**仕上げ材の中性化抑制効果と
シミュレーション技術の開発
- 開発技術③: **水分の浸透抑制に着目**した外観維持型の改修方法の提案

6. 技術開発の実現可能性

目標達成の技術的可能性: 開発技術①～③において、経験豊富な研究者による実施。
技術開発のための資金: 関連した継続研究に立つ資金確保と運用の豊富なノウハウ。
研究体制: 研究者間の密な連絡体制の実現。